



# ネット上で手軽に企業のリスク対策について検討できる 企業BCP支援サイト「トリB」のご案内！

**新機能**

今すぐ取り組める！「事業者向け危機管理シミュレーション」を追加！

BCP（事業継続計画）を策定していない  
自然災害・新型コロナウイルス・情報セキュリティの備えが気になる  
そのような中小企業の皆様のために

鳥取県  
企業BCP支援サイト  
Tottori enterprise BCP Support Site  
トリB

サイトQRコード

サイトURL: <https://tori-b.net/>

トリB | 🔍

## 機能①：リスク診断

- ◆ 自然災害・新型コロナウイルス・情報セキュリティの3つのリスクについて、それぞれ約3分間で診断！
- ◆ 診断結果は点数化され、今後取り組むべき対策についてのアドバイスも表示！

### 診断リスク選択



自然災害



新型コロナウイルス



情報セキュリティ

リスク診断：自然災害

### 自社の状況回答



設問5 BCPについてはご存じですか？

- BCPは既に策定し、定期的に訓練や計画の見直し、社内教育をやっている
- BCPは策定済みだが、訓練や社内教育を実施していない
- 災害対策マニュアルはあるが、BCPは策定していない

### 診断結果表示

診断結果

あなたの会社の診断結果は

**75**点です。

そこそこです。



<凡例>  
0~29点 タメタメ  
30~59点 まだまだ  
60~89点 そこそこ  
90~100点 かなりなもの

リスク診断：新型コロナウイルス

責任者に貴社の取り組み内容をお伺いします



設問4 感染予防の責任者や担当者を決めていますか？

- 決めている
- 特に決めていない

リスク診断：情報セキュリティ

社内を見学させていただき、運用状況を確認させていただきます



設問9 全社員は電子メールの添付ファイルや本文中のurlを介したウィルス感染に気を付けていますか？

- 全社員が十分気を付けている
- 一部の社員はあまり気を付けていない

診断結果の解説

自然災害による各種の備えは一定レベルで行われています。ただし、不足する事前対策の実施とともに、BCPの整備と訓練・教育の実施が重要です。今後は、県のBCP策定ワークショップ等を利用して、BCPの策定や見直しを進めるとともに、県の補助金を活用し、対策を強化しましょう。BCP策定により国の事業継続力強化への申請も平易になりますので、そちらにもトライしましょう。

NEW!

## 機能②：事業者向け危機管理シミュレーション

- ◆ **非常事態時の対応を疑似体験！**次々に提示される情報に対して企業としてどのように対応すべきか回答することで、**BCPの策定や見直しの必要性等についての気づきやヒントが得られます！**
- ◆ **社内の危機管理に関する研修や教育資料**としてもご活用ください！

「水害対応」と「地震後の事業継続対応」の2シナリオを用意



### 状況付与 1

【9月6日（月） 18:00】

夕方の天気予報をテレビで見ていると台風情報が流れました。  
気象庁が発表した台風の進路予想図からは、2日後の9月8日（水）夜に**大型台風が鳥取市を通過する見込み**であることが分かりました。  
気象庁は今後の気象情報に注意するよう呼び掛けています。



### 質問

大型の台風が鳥取市を直撃する見込みで、今後警戒が必要です。

あなたは今後、気象庁が発表する気象情報をこれからのように入手しますか。以下から選んでクリックしてください。

- ① [自分で気を付けて確認する](#)
- ② [総務部の責任者に依頼する](#)
- ③ [特になにもしない](#)

模擬災害体験で自社のリスク対策を見直そう！

NEW!

## 機能③：簡易BCP作成

- ◆ **事業継続対応に最低限必要となる6つの対応ルールを解説、10分程度で作成！**
- ◆ **重要なポイントを押さえ、具体的なBCP策定へとステップアップを目指しましょう！**

**簡易BCPをつくる**  
～10分で作る6つの事業継続対応ルール～

- 6項目の記入フォームに書き込むだけ
- できあがったら、PDFで出力可能
- 必要6項目は解説付き

### 解説1：「重要業務」とは

BCPでは、非常時においても止めない、あるいは早期に再開すべき業務を定めます。

その業務のことを**重要業務**といいます。

事業中断するような非常事態が発生した場合は、すべての事業再開を進めるのではなく、事業に優先度をつけ、最も重要な事業から再開を進めます。

この重要業務を事前に決定しておくことは事業継続の備えとして非常に重要となります。

組織内で複数の事業を行っている場合は、以下のような観点で**事業中断による影響を評価**した上で、重要業務を選定していきます。

#### 【事業中断による影響評価の観点の例】

- ・売上、利益、マーケットシェアへの影響

ルール解説

### 我が社の6つの事業継続対応ルール

#### ルール1：重要業務の再開を急ぐ

わが社で止められない重要な業務（又は事業）は？

[解説を見る](#)

300文字以内でご記入ください

#### ルール2：非常時対応の開始を宣言する

何らかの影響で会社の経営や事業実施に影響が出る場合、社長は「災害モード」又は「非常時の経営体制（BCP体制）」に移行することを再宣言する

[解説を見る](#)

#### ルール3：以下の場合に計画を発動する

『災害モード』『非常時の経営体制』に移行するタイミングは以下のとおり

- (1) 「災害モード」への移行

自社へ当てはめ